

# きずな

2013年 2月28日

NO 922

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

2月25日、井原市議会2月定例会が開会しました。会期は3月18日までの22日間です。25日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明に先立ち、新年度の市政運営の基本方針を話しました。その内容を3週に亘ってお知らせします。

本市の25年度の予算案につきましては、今年度が「井原市第6次総合計画後期基本計画」の初年度であるとともに、市制施行60周年を迎えることから、新たなスタートの年と捉え、厳しい財政環境の中にあっても将来都市像である「美しい自然 息づく文化 笑顔でつながるひと 元気発信都市いばら」の実現に向け、諸施策を着実に力強く推進するため、積極的な予算編成を行ったところであります。

中でも「活力と交流を生み出すまち」の実現のため、「経済・雇用対策」として投資効果の発現や民間投資の誘発等の観点から地域経済の活性化につながる新たな諸施策に予算の重点化を図ったほか、「心豊かでたくましいひとを育てるまち」の実現のため、「教育」に重点を置き、確かな学力を育成し、規範意識や道徳心、郷土愛を育む教育を推進する各種施策へ新たに取り組むこととしております。さらに、市制施行60周年記念事業では、6月1日に記念式典を挙行いたしますほか、子ども議会の開催や井原夏まつりの新たな踊りの制作など多彩な行事を催すこととしております。



その結果、一般会計予算額を196億5,600万円とし、前年度当初比6億4,300万円、3.4%増の合併後2番目の規模となる大型予算を編成したところであります。

また、特別会計では、国民健康保険事業など8会計で135億5,280万円を、水道、病院、工業用水道の企業会計は、39億3,244万2,000円を計上しており、合わせて25年度の予算総額は371億4,124万2,000円としております。

次に今後五年間の基本的な施策を体系的に示した「井原市第6次総合計画後期基本計画」についてであります。

後期基本計画の策定に当たりましては、市民意識調査等を実施したのをはじめ外部委員50人からなる「井原市まちづくり計画推進審議会」においてご審議いただくなど、市民意見を反映した計画としております。また、後期基本計画では、6つの基本目標に新たに重点分野を設け課題解決に向けて積極的に施策を推進するほか、基本施策ごとに市民一人ひとりが取り組める事柄をまとめ、市民と行政との協働のまちづくりをさらに進めることとしたところであります。それでは、市政の基本方針につきまして、後期基本計画に掲げる基本目標に沿って、順次申し述べてみたいと思います。

## 心豊かでたくましいひとを育てるまちづくり

**学校教育** 幼稚園教育の充実のために、4月から3歳児教育を県主、荏原の2幼稚園で、また、預かり保育を荏原幼稚園で新たに開始いたします。

さらに、小・中学校においては、確かな学力の育成に向けて、新たに放課後学習・地域土曜学習サポート事業や、夢を持つことのすばらしさを学ぶスポーツふれあい交流事業「夢の教室」、郷土愛を育む「ふるさと井原魅力発見事業」を実施するとともに、非常勤講師等の配置による少人数指導を通して、学力向上や心の教育を推進してまいります。

また、不登校・いじめ対策として、新たに小学校4年生から中学校3年生までを対象としたアンケート調査を実施し、いじめ等の早期発見、未然防止を図ることとしているほか、不登校相談員の配置、適応指導教室「大山塾」との連携、訪問カウンセリング事業や児童生徒自立支援事業に取り組むこととしております。

**学校施設等の整備** 美星中学校格技場の建設や市立高校建設に向けた校舎の設計を進めるほか、引き続き、学校施設の営繕工事に取り組み、安全・安心な教育環境の整備充実に努めてまいります。

**社会教育の推進** 今年度改訂しました「井原市第2次生涯学習基本構想・基本計画」に基づき、さらなる生涯学習推進体制の充実に努めてまいります。また、大江公民館の建設や出部公民館の設計に取り組むなど、地区公民館を計画的に整備するほか、芳井生涯学習センターの営繕工事などに取り組むこととしております。

**スポーツ活動の充実** 引き続き、競技力の維持向上と選手の育成強化の支援を行います。また、市制施行60周年記念事業として、「宝くじ スポーツフェア・ドリーム・ベースボール」を開催し、市民とプロ野球選手との交流を図ることとしております。さらに、昨年9月にオープンいたしました井原市グ

2面につづく

## 1面よりつづく

ラウンド・ゴルフ場の開場を契機にグラウンド・ゴルフのさらなる普及を目指すとともに、生涯スポーツの振興にも努めてまいります。

**地域文化の振興** 市民の芸術、文化活動への支援を行うとともに、昨年度に続き、本市にゆかりのある偉人を情報発信する「郷土偉人伝承事業」を進めてまいります。また、市制施行60周年記念事業として、井原の方言集の発刊や「井原今昔写真展」の開催、さらには田中美術館での春季特別展「片岡鶴太郎 - 精霊椿 -」などを開催し文化の振興を図ることとしております。

## いつまでも健康ではつらつと生きるまちづくり

**健康づくりの推進** 市民参加による主体的な健康づくりと効果的な健康対策を推進するための具体的な計画として「井原市健康増進計画」を策定いたします。

**笑って健康元気アップ事業** 笑顔の食育参観日「朝食パワーアップ教室」を新たに追加し子育て世代を対象とした事業を充実させるなど、笑いの効用・効果と食育の重要性を広く普及啓発することにより、健康寿命日本一を目指したまちづくりに努めることとしております。

**各種検診** 新たに女性の検診を日曜日に実施することで受診しやすい環境を整えることとしているほか、引き続き、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診の一部無料化や乳幼児の予防接種事業を実施するなど、市民の健康増進施策を積極的に推進することとしております。

**子育て支援** 保育園の保育料は、国が徴収基準を示す中、本市では現在約25パーセントの軽減措置を行っておりますが、新年度から、さらに低所得者に配慮した料金設定を実施し、保護者の負担軽減に努めることとしております。また、発達障害児に対する支援体制を整備するため、新たに発達障害児支援コーディネーターを配置し、きめ細かい相談支援や「こども発達支援センター」との連携を図ることとしております。

**高齢者福祉** いきいきデイサービス事業や軽度生活援助サービス事業、寝具類乾燥消毒サービス事業等の実施により、高齢者福祉サービスの充実を推進するとともに、いばらサンサン交流館において三世代交流事業を引き続き実施することとしております。

**介護保険事業** 平成24年度から平成26年度を計画期間とする「井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 第5期」に基づき、引き続き介護サービスの充実に努めます。

**障害者福祉** 障害者基本法と障害者総合支援法の理念に基づき障害者の地域生活への移行を一層進めるため、相談支援体制と就労支援の強化やケアマネジメントの拡大を行うとともに、各種の自立支援事業や地域生活支援事業を実施し地域で自立した生活を営むことができるよう障害者福祉の推進に努めてまいります。



**地域福祉** 地域福祉の推進に取り組むための「井原市地域福祉計画」を来年度からの2カ年度で新たに策定し、社会福祉団体やボランティア等との協働に努めてまいります。

また、福祉施策をわかりやすく紹介する「福祉のしおり」の改訂版を作成し、全世帯へ配布し周知を図ることとしております。

**地域医療体制の充実** 市民病院の医師確保につきましては、岡山大学をはじめ関係医療機関へ、山田院長とともに派遣要請を続けており、昨年からは、福山市民病院との連携により、循環器内科医師の派遣をいただくなど、非常勤医師の応援を得て診療の充実を図ってきたところであります。

こうした中、このたび、4月1日から市民病院に常勤医師をお迎えできる運びとなり、新たな診療科として脳神経外科を標榜することとし、急遽、今議会に関係条例案を提出させていただきました。

脳神経外科では、主に脳、脊髄、神経の病気を、診断・治療いただき、脳神経の病気の早期発見、早期診断及び脳疾患後のリハビリテーションに取り組んでいただけることとなりますが、当面は一人の対応であり、大きな手術等は可能な病院にお願いすることとなります。

現在10名の常勤医師が11名となり、より充実した医療サービスの提供が可能となりますので今後とも地域の中核病院として適切な医療の提供と信頼される病院づくりを目指し地域医療の充実に一層努めてまいります。

また、美星国保診療所につきましては、建物の耐震化とともに機能的な診療所とするため、敷地内に診療所を建て替えることとしており、引き続き美星地域における長期安定的な医療の提供に努めてまいります。

次週第922号へつづく

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙2,900円日曜版800円)